

ワンピースから学ぶ

国立病院機構千葉医療センター
臨床検査技師長
永井 正樹

最近の若者を見ていると、自分から積極的にリーダーになりたがらない人が多いように感じます。リーダーになると、重い責任を背負わされ、面倒なことまで引き受ける立場になるので、自分から進んでなりたくないというのが本音かもしれませんが、将来的なことを考えると一抹の不安が残るのは私だけでしょうか？

病院でも、ストレスの多いマネージャー（中間管理職）になるよりも、現場でのプレイヤーでいるほうがいいと考える職員が増えていると感じています。それも働き方の選択ですから、悪いと言うつもりはまったくありません。でも、恐らくほとんどの人が信頼されたいと思っているでしょうし、信頼されたくない人は、そうはいないでしょう。人には他人に認められたい承認欲求がありますから、当然と言えば当然です。では、人から信頼されるためには、どうすれば良いのか？これは老若男女を問わず、共通の課題だと思います。しかし、信頼を獲得するための方法は、これをしたらと一概には言えません。しかし、信頼される人の共通点は何か必ずあるはずで

みなさんワンピースというマンガをご存じでしょうか？ワンピースは、1997年に「週刊少年ジャンプ」で連載が開始され、現在（2012年9月時点）までに67巻の単行本が刊行されています。67巻の初版発行部数は405万部で、64巻で記録した初版発行部数400万部の日本新記録を自ら塗り替え、累計部数は2億7,000万部以上に達したと言いますから、誰もが認める国民的マンガだと思います。1999年にはアニメの放送も開始され、常に高視聴率を保っているなど、ロングランを続けています。

主人公のモンキー・D・ルフィは海賊団・麦わらの一味の船長であり、彼には現在8人の仲間がいます。彼らは互いに強い信頼で結ばれています。仲間が裏切る可能性など、まったく考えていませんし、平気で自分の命を仲間任せます。私たちは、命を

賭けてもいいと思える仲間がいるのでしょうか。それほどの信頼関係を他者と築けているのでしょうか。どうしたらこれほどの信頼を勝ちとれるのでしょうか。それはまずリーダーになり、リーダーシップを発揮することで、人から信頼を勝ちとれるのだと思います。ただ、誤解して欲しくないのは、ここで言うリーダーシップは、従来型の「おれについてこい」型のそれではありません。高度経済成長期に必要とされた、強引なリーダーシップは時代に合わなくなったと思います。

その時代によって、求められるリーダーシップは変わります。会社や暮らしの安心安全が当たり前ではなくなったこともあり、今の社会に適した新しいリーダーが求められていると思います。ワンピースには、旧世代のリーダーの代表のような大海賊・白ひげという人物が登場します。白ひげは自分の海賊団の船員を「息子」と呼び、圧倒的な求心力で荒くれ者たちを統率します。一方、ルフィ率いる麦わらの一味は、完全にフラットな関係です。船長はルフィですが、だからと言って上下関係があるわけではありません。一味はお互いに間違いを指摘し合いますし、ルフィも素直に間違いを認めます。ルフィはリーダーではあるけれど、決して支配者ではないのです。大きな夢を掲げて、仲間を信頼する。仲間と共に泣いたり、笑ったりする。仲間と一緒に大きな困難を乗り越えて成長する。そこには揺るぎない信頼関係があります。お互いに信頼し、信頼されることで、個々のメンバーが自由に自分の能力を発揮できる。単に仲間の能力を信頼するだけでなく、仲間の人間性も信頼しているわけです。だからこそ、最強のチームが形成されているのです。

誌面の都合上、これ以上詳しいことは申しあげられませんが、より多くの人から信頼を獲得できれば、みなさんの人生はより豊かなものへと変わっていくでしょう。信頼する仲間と一緒に、自分が思い描く大きな夢へ、日々近づいて行けるに違いありません。ルフィたち麦わらの一味に憧れるだけでなく、私たちの今の日常をより豊かに生きるヒントをワンピースから感じとっていただきたいです。ワンピースが提唱する新しいリーダーシップは、生き様そのものです。荒れ狂った大海原に飛び出して、信頼できる仲間と大きな夢を追い求める。そのためのやさしくて強い武器として、リーダーシップを身につけたいですし、みなさんにも身につけてほしいと願っています。